

要求水準の表現の事例

稲城市立中央図書館及び城山公園体験学習施設 PFI 事業

設計、建設に関する業務要求水準書（一部抜粋しています）

（１）施設の基本的な方針（基本コンセプト）

二つの施設が互いに機能補完しあって単なる知識の習得だけではない、総合的な学習の場の提供、立地を生かし滞在型の利用を前面に押し出した新しい発想の図書館。

（２）施設の考え方（施設コンセプト）

a. 自由度の高い平面計画

- ・図書館施設の主要エリア（関連性の高い諸室）は出来るだけ 1 フロアで確保する。
- ・将来のレイアウト変更や図書館情報システム変更等に柔軟に対応できる様にする。
- ・固定間仕切りのない自由度の高い平面となるように計画する。
- ・体験学習施設は平屋建てとし使用用途を限定しない多目的に使える諸室を、屋外スペースを積極的に取り込むよう配慮する。

b. 滞在型施設

- ・図書館施設の一般開架スペースは眺望を堪能しゆったりとした空間が提供できる様に配慮する。
- ・体験学習施設は既設公園と一体的な空間を形成するように配慮し、くつろげる施設を設ける。

c. 街に顔を向けた配置計画

- ・前面道路からの内部の活動が見えるように配慮する事で開放的な“顔”を持つ施設として気軽に立ち寄りやすい雰囲気を作るものとする。
- ・また、既設公園とのアクセスルートを確保し、公園からの動線にも配慮する。

d. 動線計画への配慮

- ・本施設は複合施設であり、機能相関に留意した室の配置及び動線計画に十分配慮をする。利用者の動線と、搬入や事務室および閉架書庫への動線は明確に区別する。

e. 不特定多数の人が快適に利用できる施設

- ・当該施設は、不特定多数の人たちが集まり利用する施設である。そのすべての人たちができるだけ快適に施設を利用できるように各諸設備の計画や設置に配慮する。

f. 機能の補完

- ・図書館施設と体験学習施設は分棟とするが、互いの機能を補完しあうよう配慮する。

g. 周辺環境と調和した一体的な外観デザイン

- ・都市公園内における緑豊かな環境に配慮し、周辺環境との調和をはかり、図書館施設と体験学習施設の一体的なデザインに配慮する。

h. 自然環境との共生

- ・本施設が恵まれた自然環境の中に設置されることに留意し、環境への負荷を軽減した建築技術や建材などの利用や環境共生手法などを用いて自然環境との共生に配慮する。

（３）施設全体仕様

建築仕様

a. 施設仕様

- 1) 色彩計画は各諸室の利用目的・利用者層にあわせた色調とする。

- 2) 屋上緑化を推奨する。
- 3) 窓ガラスは紫外線をカットする仕様とする。
- 4) 室内の音が反響しづらい仕様とする。
- 5) ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮する。
- 6) 使用する材料（建築資材，備品，図書装備等含む）は，ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の科学物質の削減に配慮したものとする。
- 7) 塗装及び接着剤（建築資材，備品，図書装備等に使用するものを含む）は，ホルマリン不検出のものとする。

b. 外構仕様

- 1) 駐車場（●● 台以上），駐輪場（●● 台以上，うち屋根付●● 台）を敷地内に確保する。
- 2) 車両入出庫管理装置はゲート式駐車場管理システムにて行う。
- 3) 駐車場●●台以上のうち，障害者用車両等（●● 台）のスペースを確保する。
- 4) 業務用出入口付近に図書等搬入車両のスペースを確保する。
- 5) 歩車道を分離した歩道を設ける。
- 6) 体験学習施設への大型物品搬入に配慮する。
構造仕様 [略]（内容が専門的なため省略）
設備仕様 [略]（内容が専門的なため省略）

（4）諸室仕様

《共通要件》

- ・必要なサイン（案内表示，室名版，禁止表示等）を設置し利用者にわかりやすくする。
- ・施設内は禁煙とする。

《図書館施設諸室》

エントランスホール

- ・外部からわかりやすく，市民が気軽に立ち寄りやすい位置に設ける。
- ・一般利用者の出入口とは業務用出入口は明確に分ける。

ラウンジ

- ・施設利用者が自由に休息できるスペースを設ける。
- ・休息するための設備を整備する。

一般開架スペース

- ・書架にある資料を市民が自由に検索し，読んだりする図書館の中心的な空間とする。
- ・開放感の有る空間とする。
- ・開架図書等は●● 万冊を目安とする。

新聞・雑誌コーナー

- ・新聞・雑誌を自由にくつろいだ雰囲気の中で見たり，読んだりすることができる空間とする。
- ・図書館主階，開架スペースに繋がった場所に設ける。

サービスカウンター

- ・貸出登録，貸出，返却，リクエスト受付，利用案内，読書案内，レファレンスの受付を行いやすく，利用しやすい空間とする。
- ・来館者からわかりやすく，できるだけ一般開架スペース全体が見回せる位置に設ける。
- ・図書等の貸出・返却を行うカウンターを設置する。
- ・カウンターは車いす利用者を考慮した仕様とする。

児童開架スペース

- ・乳幼児から小学生向けの図書等を置き、誰でも自由に本を選んだり、読んだり、あるいは、親が読み聞かせをしたり、子ども同士が本を読みあたりできる空間とする。
- ・児童図書は●●冊を目安とする。
- ・子どもの騒がしさが館全体に響かないよう位置、床仕上材、その他仕様を考慮する。
- ・近接して子ども用トイレを、適切な数だけ設置する。

おはなし室

- ・子どもを対象に絵本読みやおはなし等を行うための部屋とし、使用していないときには開放でき児童書架スペースと一体的に誰でもが利用できるよう配慮する。

レファレンス・地域資料スペース

- ・参考図書、地域資料を置き、調べものをするためのスペースとし、出来るだけ静かな空間となるよう配慮は必要であるが、資料を閲覧したい人が気軽に入ってこられる雰囲気も持たせる。
- ・書架は●●冊を目安とする。

視聴覚資料スペース

- ・DVD、CD、ビデオテープの視聴と貸出等、視聴覚資料関係のサービスを行う。
- ・資料はCD●●枚、DVD●●枚、ビデオテープ●●本を目安とする。
- ・●●席以上の視聴スペースを設ける。

障害者サービス室

- ・図書館を利用するにあたり障害のある人に対するサービス（主に視覚障害者の求めに応じる資料の録音、対面朗読）を行うスペースとし、職員その他、障害者・ボランティアも利用しやすい空間となるような配慮をおこなう。

閉架書架

- ・図書、雑誌、新聞等、一定期間を経過し、開架スペースから除架したものを保存し、利用者の要求に応じて提供するスペースとする。
- ・●●万冊を収蔵する。

事務作業室

- ・図書館の庶務・管理運営、資料の選択から受入れ整理等、図書館のサービスを支える中枢となるよう利用しやすく機能的な空間とする。

応接スペース

- ・来訪者（市民、図書館関係者、外部団体、他）と応接するためのスペースとする。

スタッフルーミング

職員が休憩したり、食事をとったりするためのスペースとし、サービス・業務空間から切り離されたくつろいだ雰囲気の空間とする。

- ・男女別に分離が可能なロッカーコーナーを設ける。

喫茶室

- ・図書館及び体験学習施設の利用者が休息するためのスペースとし、利用者が気軽に交流を交わすことが出来る雰囲気をもたせる。
- ・●●人以上の利用が可能な喫茶室とする。
- ・運営上必要と思われる調理器具等を整備すること。

《体験学習施設諸室》

工房（工作室）

- ・主に工具等を使った工作などの体験学習を行うスペースとする。
- ・工作台（火気使用設備及び給排水設備を併設）等を設ける。

- ・倉庫を設ける。
- ・屋根付屋外スペースと隣接する。
- ・●●人以上利用可能な工作台等を設置する。
- ・分割して複数室利用が可能となるようにする。
- ・利用例：陶芸，草木染め，周辺材料を使った工作の教室等

レクチャールーム

- ・体験学習講座の講義を行うためのスペースとする。
- ・平土間，固定席を設けない。
- ・●●人以上利用可能な机，椅子等を設置する。
- ・倉庫を設ける。
- ・分割して複数室利用が可能となるようにする。

体験学習室（会議室）

- ・体験学習講座の市民活動を行うスペースとする。
- ・複数室設け、各室の分割利用が可能となるようにすること。

視聴覚室

- ・体験学習講座の市民活動を行うスペースとする。
- ・平土間，固定席を設けない。
- ・●●人以上利用可能な机，椅子等を設置する。
- ・音響，映写機器を設置する。
- ・倉庫を設ける。
- ・利用例：人形劇，影絵，視聴覚資料の利用等

展示コーナー

- ・稲城市の紹介展示，体験学習で行った活動及び作成した作品の展示や施設の案内を行うスペースとする。

事務作業室

- ・体験学習施設を管理・運営するためのスペースとし，機能的で管理しやすい空間とする。
- ・入管理や受付・応接が可能なよう，エントランスに近接して設置する。

[(仮称)玉島市民交流センターにおける要求水準の検討対象]

班	主に検討する内容
A 班	●施設の考え方、施設全体仕様に関するもの ●諸室仕様のうち、公民館や労働会館、憩の家の機能に関するもの (ホール、音楽室、会議室、調理実習室、和室・茶室等など)
B 班	●諸室仕様のうち、体育施設に関するもの
C 班	●諸室仕様のうち、海洋資料館、美術館(室)に関するもの